2017年9月期決算説明会

2017年11月21日
代表取締役社長 武政 栄治

富士製薬工業株式会社
(4554/東証1部)

FujiPharma

目次

2017年9月期連結決算概要 ・・・

2017年9月期連結決算概要

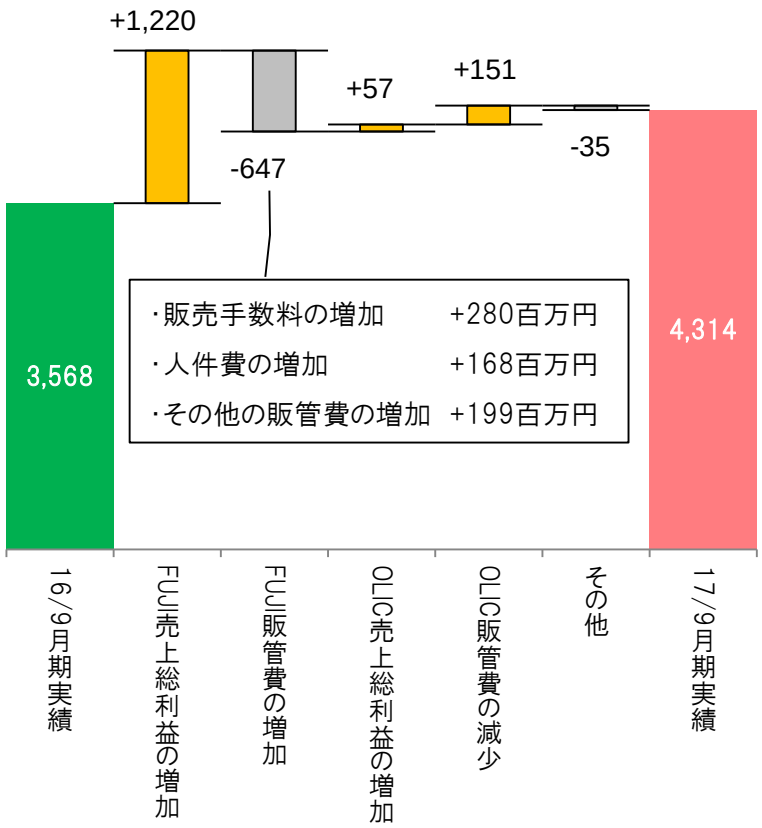
- ブランド薬・新製品の寄与により増収、売上高+1,158百万円（前期比+3.4%）
- 原価低減策、数量増により粗利率2.0ポイント上昇
- 研究開発費の期ずれ等もあり、営業利益+746百万円（前期比+20.9%）、為替差益により経常利益+1,376（前期比+42.3%）

（百万円）	16/9月期 通期	17/9月期 通期	前期比 増減額	前期比 増減率	【ご参考】17/9月期 予想	【ご参考】予想比 増減額
売上高	34,229	**35,387**	1,158	3.4%	36,300	△ 913
売上総利益	13,537	**14,715**	1,178	8.7%	-	-
粗利益率	39.6%	**41.6%**			-	-
販売管理費	9,969	**10,401**	431	4.3%	-	-
販売管理費率	29.1%	**29.4%**			-	-
営業利益	3,568	**4,314**	746	20.9%	4,300	14
営業利益率	10.4%	**12.2%**			11.8%	
経常利益	3,251	**4,628**	1,376	42.3%	4,180	448
経常利益率	9.5%	**13.1%**			11.5%	
親会社株主に帰属する当期純利益	2,118	**3,301**	1,182	55.8%	2,800	501
当期純利益率	6.2%	**9.3%**			7.7%	
ROE	7.3%	**10.7%**				
1株当たり当期純利益	141.64	**220.63**	78.99	55.8%		
設備投資額	2,427	**1,261**	△ 1,166	-48.0%		
減価償却費（設備リース費含む）	1,941	**1,862**	△ 79	-4.1%		
研究開発費	1,840	**1,825**	△ 15	-0.8%		
研究開発費率	5.4%	**5.2%**				

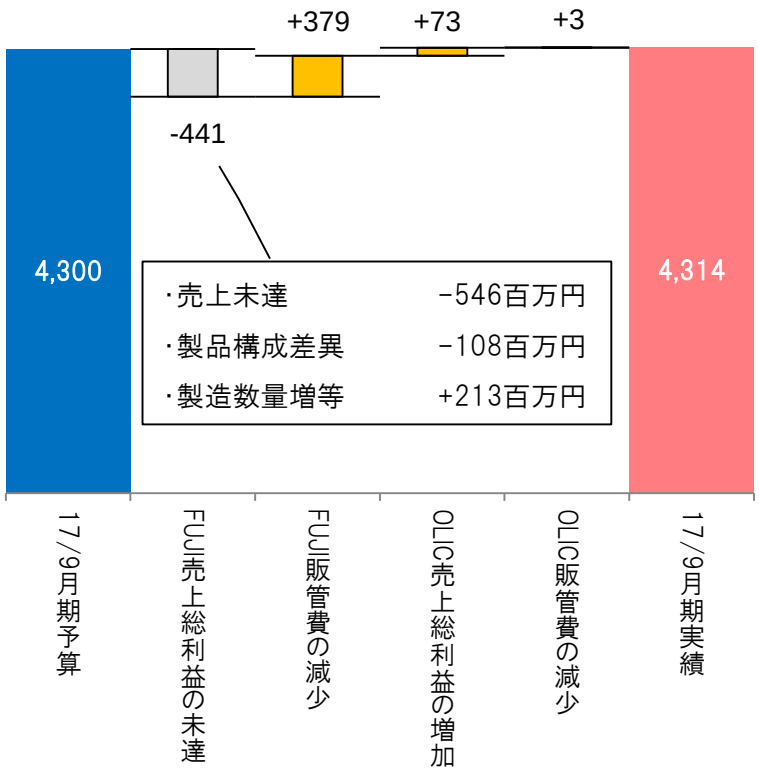
FujiPharma

2017年9月期連結決算概要

営業利益　前期との比較



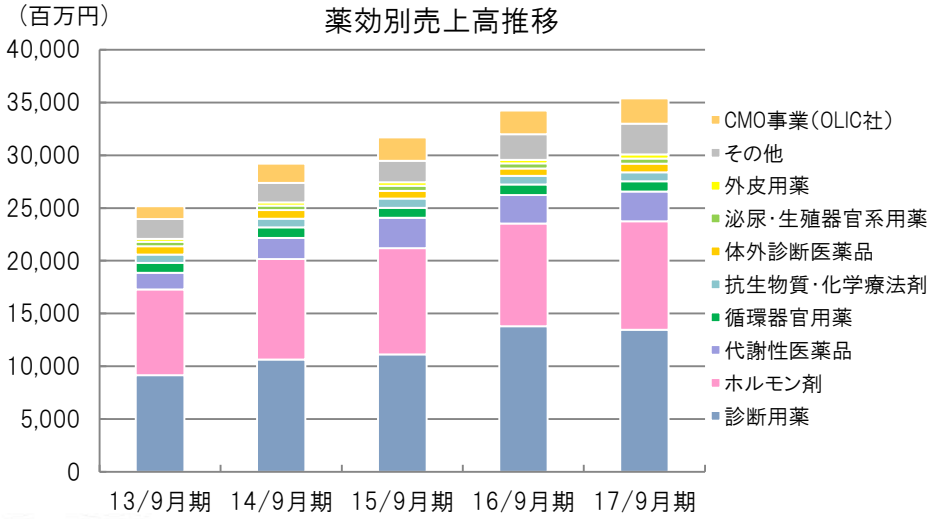
営業利益　予算との比較

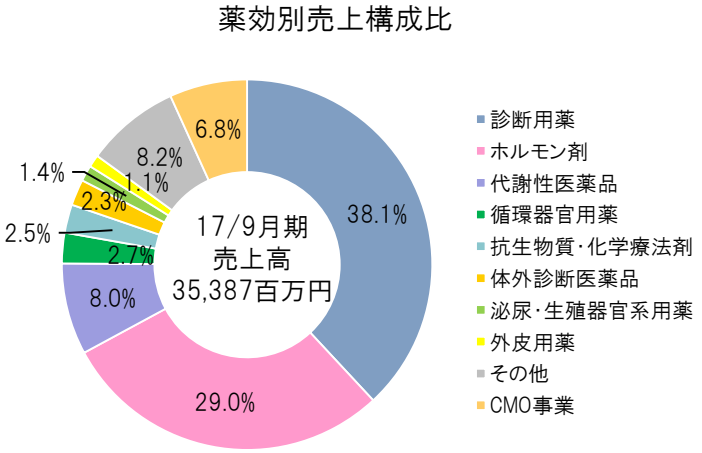


FujiPharma

薬効別売上高

(百万円)	13/9月期	14/9月期	15/9月期	16/9月期	**17/9月期**	前期比 増減額	前期比 増減率
診断用薬	9,158	10,656	11,123	13,808	**13,473**	△ 335	-2.4%
ホルモン剤	8,134	9,511	10,071	9,709	**10,275**	566	5.8%
代謝性医薬品	1,584	2,003	2,893	2,706	**2,828**	122	4.5%
循環器官用薬	920	985	937	1,008	**945**	△ 63	-6.3%
抗生物質・化学療法剤	793	845	874	812	**874**	62	7.6%
体外診断医薬品	802	799	742	695	**805**	110	15.8%
泌尿・生殖器官系用薬	406	437	464	486	**492**	6	1.2%
外皮用薬	289	301	327	352	**384**	32	9.1%
その他	1,856	1,857	2,055	2,414	**2,907**	493	20.4%
CMO事業	1,226	1,818	2,190	2,236	**2,401**	165	7.4%
合計	25,174	29,215	31,680	34,229	**35,387**	1,158	3.4%





FujiPharma

主要製品売上高

製品名（百万円）	薬効分類	13/9月期	14/9月期	15/9月期	16/9月期	**17/9月期**	前期比 増減額	前期比 増減率
オイパロミン注	診断用薬	6,727	6,465	6,500	7,029	**6,879**	△ 150	-2.1%
ルナベル配合錠(LD/ULD)	ホルモン剤	2,967	3,491	3,756	3,017	**2,845**	△ 172	-5.7%
イオパーク注	診断用薬	1,876	1,754	1,968	2,133	**2,162**	29	1.4%
オプチレイ注	診断用薬	-	1,861	1,972	1,927	**1,923**	△ 4	-0.2%
フィルグラスチムBS注シリンジ	代謝性医薬品	243	539	1,344	1,481	**1,671**	190	12.8%
マグネスコープ静注	診断用薬	-	-	57	1,310	**1,353**	43	3.3%
HMG筋注用	ホルモン剤	854	901	939	917	**891**	△ 26	-2.8%
デキサート注射液	ホルモン剤	682	680	724	813	**866**	53	6.5%
リピオドール注	診断用薬	-	-	24	722	**643**	△ 79	-10.9%
ファボワール錠	ホルモン剤	301	394	456	537	**601**	64	11.9%
注射用ソル・メルコート	ホルモン剤	649	607	627	598	**585**	△ 13	-2.2%
フォリルモンP注	ホルモン剤	491	528	507	512	**583**	71	13.9%
ウトロゲスタン膣用カプセル	ホルモン剤	-	-	-	254	**578**	324	127.6%
リマプロストアルファデクス錠	代謝性医薬品	474	587	600	588	**572**	△ 16	-2.7%
アルプロスタジル注	循環器官用薬	586	609	550	593	**536**	△ 57	-9.6%
上位15品目合計		16,567	19,538	20,481	22,440	**22,695**	255	1.1%
売上高に占める構成比		65.8%	66.9%	64.6%	65.6%	64.1%		
新製品		-	436	1,109	1,487	**2,626**	1,139	76.6%
その他の製品		7,381	7,423	7,900	8,065	**7,664**	△ 401	-5.0%
CMO事業（OLIC社）		1,226	1,818	2,190	2,236	**2,401**	165	7.4%
合計		25,174	29,215	31,680	34,229	**35,387**	1,158	3.4%

急性期医療	女性医療

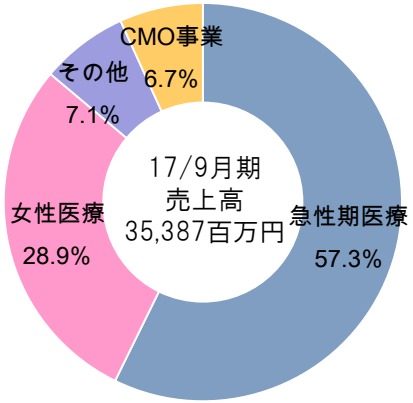
＊新製品：14/9期以降発売品（上位品を除く）
＊下線製品は、当社でのブランド薬（ブランド薬・ブランドジェネリック（承継品）・バイオシミラー）

FujiPharma

医療領域・剤形別売上高

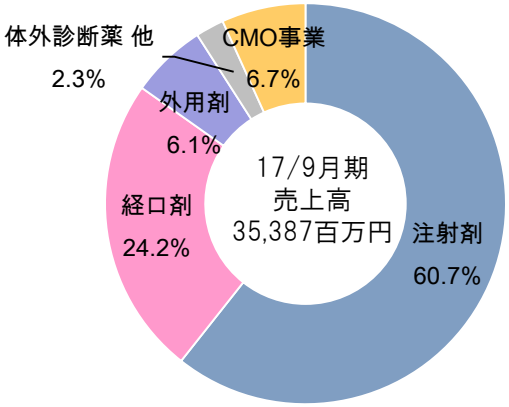
医療領域別（百万円）	13/9月期	14/9月期	15/9月期	16/9月期	**17/9期**	前期比 増減額	前期比 増減率
急性期医療	14,059	15,663	17,082	19,997	**20,264**	267	1.3%
女性医療	7,969	9,400	9,943	9,582	**10,212**	630	6.6%
その他	1,919	2,333	2,463	2,413	**2,509**	96	4.0%
CMO事業（OLIC社）	1,226	1,818	2,190	2,236	**2,401**	165	7.4%
合計	25,174	29,215	31,680	34,229	**35,387**	1,158	3.4%

医療領域別売上高構成比



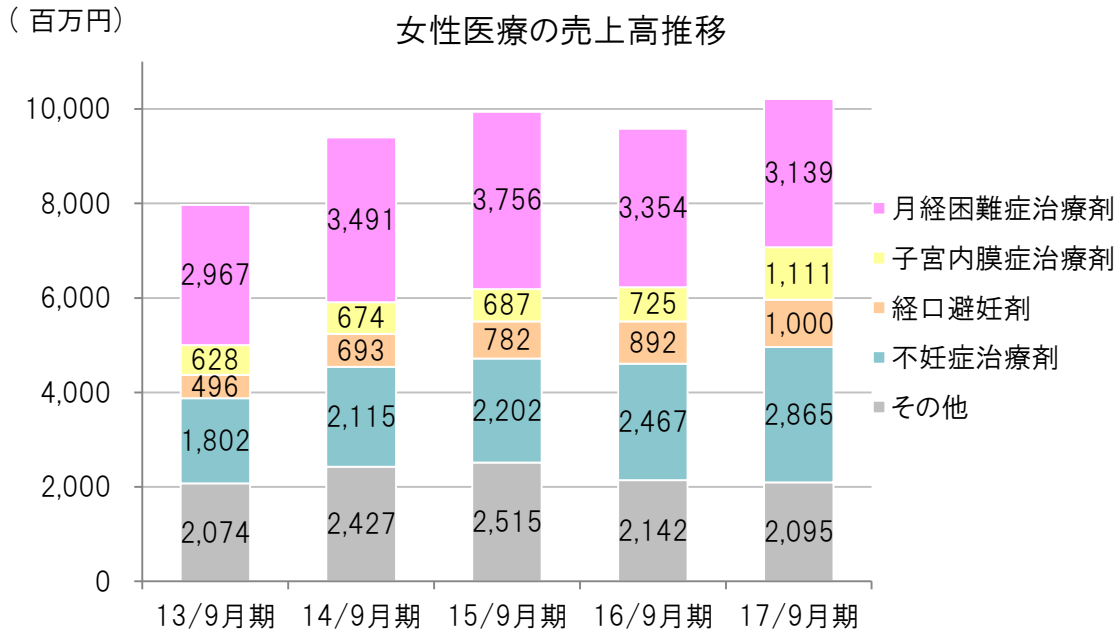
剤形別（百万円）	13/9月期	14/9月期	15/9月期	16/9月期	**17/9期**	前期比 増減額	前期比 増減率
注射剤	15,463	17,212	18,596	21,452	**21,463**	11	0.1%
経口剤	6,416	7,974	8,663	8,020	**8,547**	527	6.6%
外用剤	1,243	1,399	1,477	1,818	**2,165**	347	19.1%
体外診断薬 他	825	811	752	701	**811**	110	15.7%
CMO事業（OLIC社）	1,226	1,818	2,190	2,236	**2,401**	165	7.4%
合計	25,174	29,215	31,680	34,229	**35,387**	1,158	3.4%

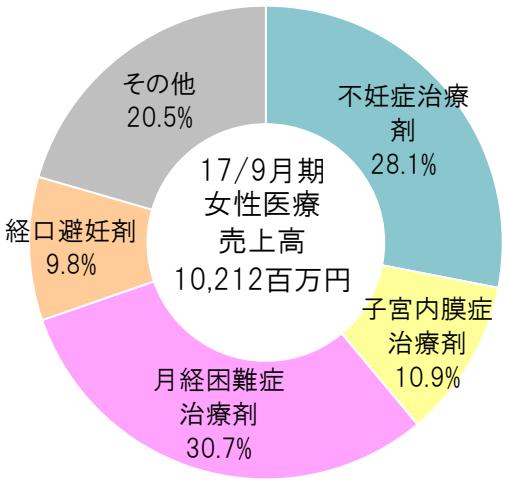
剤形別売上高構成比



FujiPharma

女性医療：売上高推移

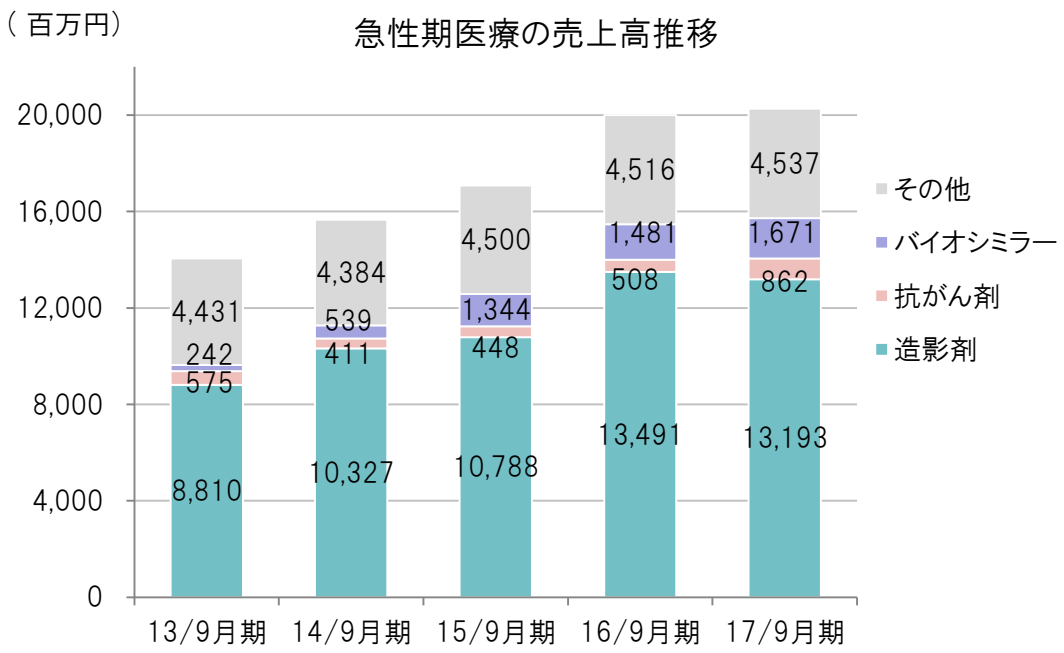


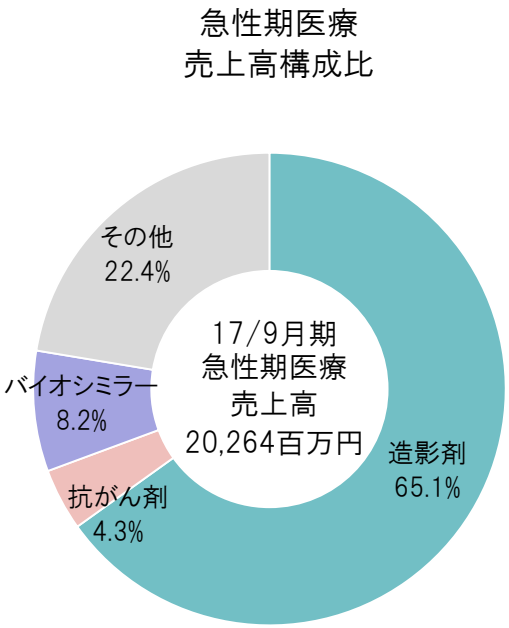


ジエノゲスト錠1mg「F」

FujiPharma

急性期医療：売上高推移





ベサノイドカプセル10mg

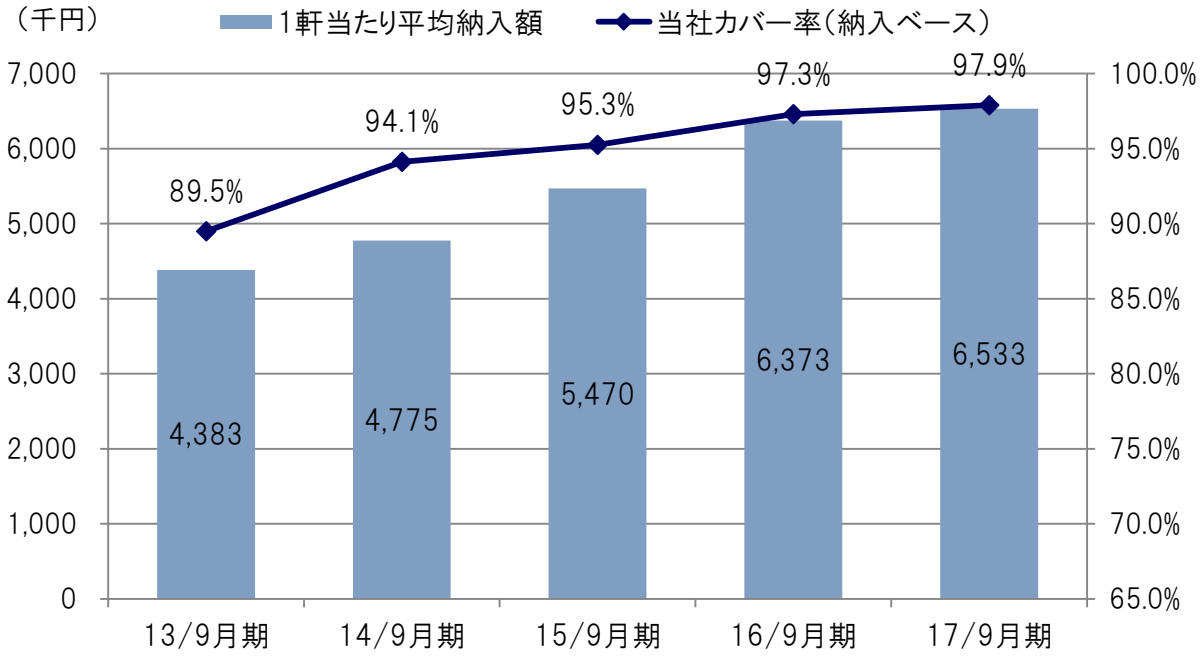
オプチレイ

ロクロニウム臭化物静注液

FujiPharma

急性期医療：DPC対象病院の売上高推移

	12/9月期	13/9月期	14/9月期	15/9月期	16/9月期	**17/9月期**	前期比	
							増減額	増減率
DPC対象施設数	1,505	1,496	1,585	1,580	1,667	**1,664**	△ 3	-0.2%
DPC採用施設数	1,333	1,339	1,492	1,505	1,622	**1,629**	7	0.4%
カバー率	88.6%	89.5%	94.1%	95.3%	97.3%	**97.9%**		
1軒当たり平均納入額（千円）	4,268	4,383	4,775	5,470	6,373	**6,533**	160	2.5%



FujiPharma

2017年9月期連結貸借対照表概要

(百万円)	16/9月期	17/9月期	前期比	
			増減額	増減率
資産の部				
流動資産	32,309	**33,208**	**899**	**2.8%**
現金及び預金	6,815	**5,503**	**△ 1,311**	**-19.3%**
売上債権	13,072	**15,142**	**2,069**	**15.8%**
たな卸資産	11,569	**11,486**	**△ 83**	**-0.7%**
その他	852	**1,077**	**224**	**26.4%**
固定資産	15,838	**16,342**	**504**	**3.2%**
有形固定資産	11,016	**11,703**	**687**	**6.2%**
無形固定資産	3,060	**2,709**	**△ 351**	**-11.5%**
投資その他の資産	1,762	**1,930**	**168**	**9.5%**
資産合計	48,147	**49,551**	**1,403**	**2.9%**
負債の部				
流動負債	12,739	**11,513**	**△ 1,226**	**-9.6%**
仕入債務	6,291	**5,721**	**△ 570**	**-9.1%**
その他	6,448	**5,792**	**△ 656**	**-10.2%**
固定負債	6,181	**5,436**	**△ 745**	**-12.1%**
負債合計	18,921	**16,949**	**△ 1,971**	**-10.4%**
純資産の部				
株主資本	29,278	**31,887**	**2,609**	**8.9%**
資本金	3,799	**3,799**	**0**	**0.0%**
資本剰余金	5,023	**5,023**	**0**	**0.0%**
利益剰余金	21,944	**24,541**	**2,597**	**11.8%**
自己株式	△ 1,488	**△ 1,476**	**11**	**-0.8%**
その他の包括利益累計額	△ 53	**711**	**765**	**-**
純資産合計	29,226	**32,601**	**3,375**	**11.5%**
負債純資産合計	48,147	**49,551**	**1,403**	**2.9%**

FujiPharma

2017年9月期連結キャッシュ･フロー計算書概要

(百万円)	16/9月期	17/9月期	前期比	
			増減額	増減率
営業活動によるキャッシュ･フロー	4,509	3,238	△ 1,271	-28.2%
（主な内訳）				
税金等調整前当期純利益	3,148	4,530	1,382	43.9%
減価償却費	1,667	1,769	101	6.1%
のれん償却額	254	254	△ 0	0.0%
売上債権の増減額（△は増加）	△ 796	△ 1,982	△ 1,185	149.0%
たな卸資産の増減額（△は増加）	△ 240	185	425	-177.1%
仕入債務の増減額（△は減少）	240	△ 642	△ 883	-367.5%
法人税等の支払額	△ 874	△ 1,094	△ 219	25.2%
投資活動によるキャッシュ･フロー	△ 3,319	△ 1,534	1,784	-53.8%
（主な内訳）				
有形固定資産の取得による支出	△ 2,308	△ 1,477	830	-36.0%
有形固定資産の売却による収入	453	130	△ 323	-71.3%
無形固定資産の取得による支出	△ 346	△ 65	280	-81.2%
財務活動によるキャッシュ･フロー	78	△ 3,042	△ 3,120	-
（主な内訳）				
長期借入による収入	2,000	-	△ 2,000	
長期借入金の返済による支出	△ 921	△ 1,921	△ 1,000	108.6%
配当金の支払額	△ 674	△ 704	△ 30	4.5%
リース債務の返済による支出	△ 326	△ 416	△ 90	27.6%
現金及び現金同等物の期首残高	5,664	6,815	1,150	20.3%
現金及び現金同等物の期末残高	6,815	5,503	△ 1,311	-19.3%
フリー･キャッシュ･フロー	1,190	1,703	513	43.1%

FujiPharma

2018年9月期連結業績予想

- ブランド薬及び17/9月期収載品を中心に売上高+2,752百万円（前期比+7.8%）
- 数量増・製品構成の改善・原価低減等により粗利率0.9ポイント改善を見込む
- その他の販売管理費の抑制により増益、営業利益4,850百万円（前期比+12.4%）

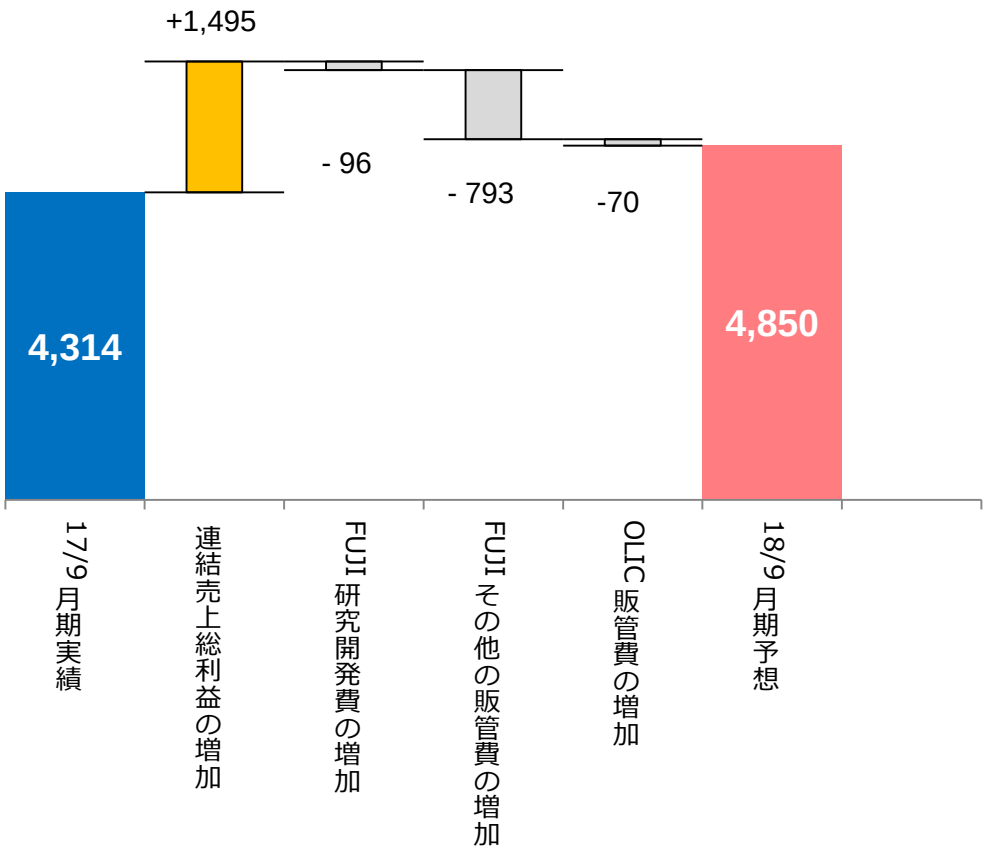
(百万円)	17/9月期	18/9月期（予想）	前期比	
			増減額	増減率
売上高	35,387	38,139	2,752	7.8%
営業利益	4,314	4,850	536	12.4%
営業利益率	12.2%	12.7%	-	-
経常利益	4,628	4,710	82	1.8%
経常利益率	13.1%	12.3%	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	3,301	3,345	44	1.3%
当期純利益率	9.3%	8.8%	-	-
設備投資額	1,261	1,181	△ 80	-6.3%
減価償却費（設備リース費含む）	1,862	2,120	258	13.9%
研究開発費	1,825	1,921	96	5.3%
研究開発費率	5.2%	5.0%	-	-

FujiPharma

2018年9月期連結業績予想

営業利益　当期予想の前期との比較

- 薬価改定を見込むもブランド薬等による売上総利益の増加
- 研究開発費･人件費･販売促進費等の増加



FujiPharma

薬効別・医療領域別売上高予想

(百万円)	17/9月期	18/9月期（予想）	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
診断用薬	13,473	14,010	537	4.0%
ホルモン剤	10,275	11,260	985	9.6%
代謝性医薬品	2,828	2,950	122	4.3%
循環器官用薬	945	970	25	2.6%
抗生物質・化学療法剤	874	870	△ 4	-0.5%
体外診断用医薬品	805	820	15	1.9%
泌尿・生殖器官系用薬	492	510	18	3.7%
外皮用薬	384	370	△ 14	-3.6%
その他	2,907	3,929	1,022	35.2%
CMO事業（OLIC社）	2,401	2,450	49	2.0%
合計	35,387	38,139	2,752	7.8%

（百万円）	17/9月期	18/9月期（予想）	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
急性期医療	20,264	22,640	2,376	11.7%
女性医療	10,212	10,330	118	1.2%
その他	2,509	2,719	210	8.4%
CMO事業（OLIC社）	2,401	2,450	49	2.0%
合計	35,387	38,139	2,752	7.8%

FujiPharma

主要製品売上高予想

製品名（百万円）	薬効分類	17/9月期	18/9月期 予想	前期比 増減額	前期比 増減率
オイパロミン注	診断用薬	6,879	6,775	△ 104	-1.5%
ルナベル配合錠（LD/ULD）	ホルモン剤	2,845	2,910	65	2.3%
イオパーク注	診断用薬	2,162	2,560	398	18.4%
オプチレイ注	診断用薬	1,923	2,075	152	7.9%
フィルグラスチムBS注	代謝性医薬品	1,671	1,725	54	3.2%
マグネスコープ静注	診断用薬	1,353	1,535	182	13.5%
HMG筋注用	ホルモン剤	891	910	19	2.1%
デキサート注射液	ホルモン剤	866	866	0	0.0%
ウトロゲスタン腟用カプセル	ホルモン剤	578	830	252	43.6%
ジエノゲスト錠	ホルモン剤	307	690	383	124.8%
リピオドール注	診断用薬	643	660	17	2.6%
ファボワール錠	ホルモン剤	601	640	39	6.5%
注射用ソル・メルコート	ホルモン剤	585	600	15	2.6%
リマプロストアルファデクス錠	代謝性医薬品	572	580	8	1.4%
フォリルモンP注	ホルモン剤	583	575	△ 8	-1.4%
上位15品目計		22,467	23,974	1,507	6.7%
全売上高に占める構成比		63.5%	62.9%		
新製品*		2,318	2,950	632	27.3%
その他の製品		8,200	8,765	565	6.9%
CMO事業（OLIC社）		2,401	2,450	49	2.0%
合計		35,387	38,139	2,752	7.8%

急性期医療　女性医療

*新製品：14/9月期以降発売品（上位品を除く）

*下線製品は、当社でのブランド薬（ブランド薬・ブランドジェネリック（承継品）・バイオシミラー）

FujiPharma

中期経営計画

一人ひとりと会社と製品の
ブランド戦略を強力に推進

ブランド薬を中心にする
新たなステージと体制を構築

グローバルな
Fuji Pharmaグループの
事業展開を実現

中期成長戦略

「特定疾患領域の新薬開発・付加価値医薬品の生産とアジア工場活用・新興国に日本品質の医薬品を提供」

戦略領域における
ブランド

×

ジェネリック

×

CMOの独自相乗
発展モデルの構築

	ブランド	ジェネリック	CMO
女性医療	● 女性ホルモン剤/ 新投与経路医薬品	● 女性ホルモン剤 ● 抗ホルモン剤	【富山工場・OLIC】 女性ホルモン剤専用工場棟
急性期医療	● 診断用薬/販売権 ● 診断用薬/新効能・ 新用量医薬品 ● 抗がん剤	● DDS/リポソーム ● 診断用薬 ● 抗がん剤 ● その他注射剤	【OLIC】 新注射剤工場棟 【富山】 新Multi-注射剤製造ライン
新戦略領域			【富山】 バイオシミラー製造ライン

FujiPharma

＊当社でのブランド＝ブランド薬+ブランドジェネリック（承継品）+バイオシミラー

中期経営計画の進捗

一人ひとりと会社と製品のブランド戦略を強力に推進

女性医療

ホルモン剤を中心に日本でのリーディングカンパニーを確立

・思春期から更年期まで幅広い年齢層の女性のための医薬品を提供
・産婦人科医療機関への医薬品提供カバー率を向上
・新たな新薬開発と更なる女性QOL向上への取組み

急性期医療

ジェネリックとブランド薬のシナジーでシェア拡大

・造影剤：X線造影剤市場での高い市場シェア維持とMRI造影剤の強化
・抗がん剤：「ベサノイドカプセル」と「フィルグラスチムBS注」による血液内科分野への新規参入・強化

CMO

富山工場とOLICの二極体制強化

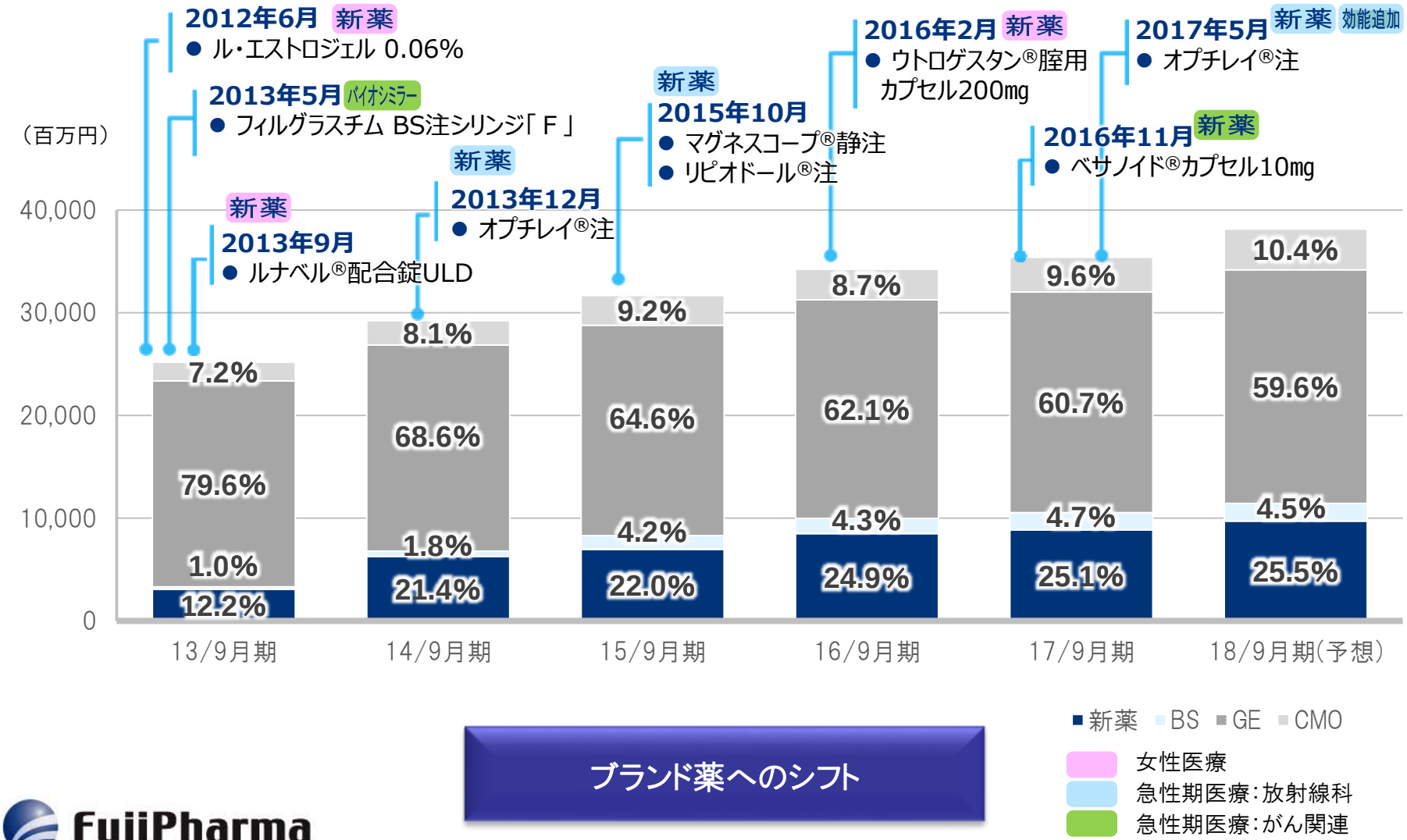
・富山工場：付加価値製剤のホルモン剤に加え抗がん剤の受託開始
・OLIC：新注射剤棟を活用した受託ビジネス強化
・注射剤CMO強化による新たな技術力、品質力、安定供給能力の蓄積

スペシャリティファーマへ

FujiPharma

中期経営計画の進捗

ブランド薬を中心にする新たなステージと体制を構築



ブランド薬へのシフト

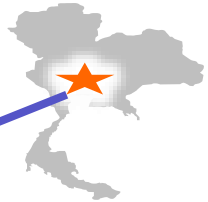
FujiPharma

中期経営計画の進捗

グローバルなFuji Pharmaグループの事業展開を実現
アジア工場の活用と新興国に日本品質の医薬品を提供

1. タイ子会社OLIC社の新注射剤棟及び倉庫棟
   - 2017年1月竣工、プロセスバリデーション開始
   - PMDAによるGMP適合性調査　造影剤等2品目（5規格）適合取得、1品目（8規格）審査中
   - 2017年第3四半期：日本への製剤出荷開始
   - 富山工場の製造技術・ノウハウの継続的移管
2. OLIC社 and/or 現地提携先を活用し、タイ国内を優先し自社品販売基盤構築開始
   - 造影剤：2018年第3四半期～2019年第1四半期タイ国にて販売承認取得予定
   - 外用剤：3品目タイ国販売承認取得済み
   - ホルモン剤：周辺国も含め市場調査中

アジア市場への展望



造影剤と女性医療
医薬品の販売基盤を
計画中

造影剤
（バイアル製剤）

オイパロミン注
（8規格）

イオパーク注
（4規格）

オプチレイ注
（ 5規格）

FujiPharma

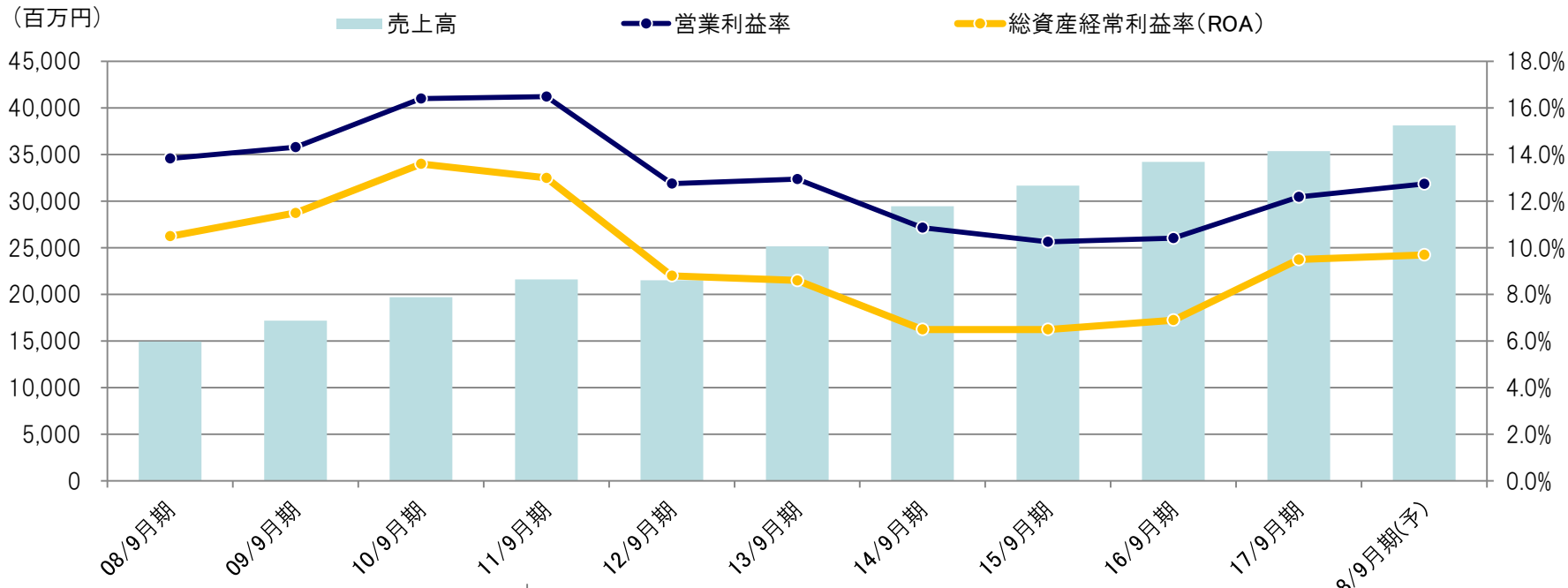
中期数値計画

- ブランド×ジェネリック×CMOシナジー効果の果実化による売上の持続的成長、利益率の向上
- コスト削減、効率向上への継続的な取組み実施
- さらなる国内外企業とのアライアンス強化

(百万円)	17/9月期	18/9月期 計画	19/9月期 計画
売上高	35,387	38,139	42,500
営業利益	4,314	4,850	6,700
営業利益率	12.2%	12.7%	15.8%
経常利益	4,628	4,710	6,650
経常利益率	13.1%	12.3%	15.6%
当期純利益	3,301	3,345	4,350
当期純利益率	9.3%	8.8%	10.2%

FujiPharma

当社の事業概要／業績トレンド



08/6月
新薬「ルナベル配合錠」
発売

11/7月
東証二部上場/
新注射製造棟（第5製剤棟）
竣工

12/7月
東証一部指定

13/4月
研究開発センター棟竣工

12/10月
OLIC社子会社化

13/5月
バイオ後続品フィルグラスチムBS注シリンジ『F』
発売

13/9月
ルナベル配合錠ULD発売

13/12月
オプチレイ注、婦人科製剤の承継・販売移管

14/4月
三井物産（株）と資本業務提携契約締結及び第三者割当による新株式発行

15/10月
マグネスコープ静注・リピオドール注・ヘキサブリックス注販売移管

16/2月
ウトロゲスタン腟用カプセル
発売

16/11月
ベサノイドカプセル承継

17/5月
オプチレイ注効能追加

17/6月
ジエノゲスト錠発売

※13/9月期より連結

FujiPharma

お問い合わせ先

本資料に記載の業績予想及び将来の予想等に関する記述は、資料作成時点で入手した情報に基づき弊社にて判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。
様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。
また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、予めご了承ください。

富士製薬工業株式会社
コーポレート企画部
Phone：03-3556-3344
Fax：　03-3556-4455
E-Mail：fsk_ir@fujipharma.jp
URL：　http://www.fujipharma.jp/

FujiPharma